

令和6年度北海道北見緑陵高等学校の教育

教育活動

学習指導

- ・学習意欲を高める指導方法の研究
- ・教科横断的な学びの推進
- ・妥当性と信頼性のある学習評価の実施
- ・家庭学習習慣の確立
- ・1人1台端末を活用した授業改善

生徒指導

- ・分掌、学年、教科が連携したきめ細かな指導の充実
- ・社会人として求められる規範意識のマナーの醸成
- ・特別活動等での主体性・達成感や自己有用感の醸成

進路指導

- ・キャリア教育の視点を踏まえた進路指導計画の明確化
- ・インターシップの効果的な実施と発展性の検証
- ・自己実現の視点からの進路指導
- ・高大接続への対応
- ・就職指導の改善

健康・安全指導

- ・生徒理解と必要な配慮・支援に対する体制整備
- ・自他の生命尊重に係る教育の推進
- ・組織的な安全管理の実施
- ・実践的な防災教育の推進

【教育目標】

自ら学び、高い知性と豊かな情報をもつ生徒	すすんで規範を守り、良識ある行動ができる生徒	健康でたくましい心身を備え、実践力のある生徒
----------------------	------------------------	------------------------

【校訓】

「立志開道」

常に前向きで氣力を充実させて自己を磨き高めようとする

【スクール・ミッション】

生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成

【スクール・ポリシー】

<グラデュエーション・ポリシー>

- 1 自ら学び、高い知性と豊かな情操をもつ生徒を育成
- 2 すすんで規範を守り、良識ある行動ができる生徒を育成
- 3 健康でたくましい心身を備え、実践力のある生徒を育成

<カリキュラム・ポリシー>

- 1 基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに単位制の特色を生かし、生徒の多様な進路希望の実現を可能にする教育課程を編成
- 2 社会で求められるコミュニケーション能力や自己表現力、課題解決力の育成を図り、生徒の特性や能力を最大限に伸長させる教育課程を編成
- 3 地域の自然や人材、設備などの教育資源を活用した学校行事等、特色ある教育課程の編成
- 4 教科等横断的な視点を重視し、学校から社会への円滑な移行を可能にする教育課程を編成

<アドミッション・ポリシー>

基本的な生活習慣が身に付いており、学業・スポーツ・芸術に高い関心と意欲を持ち、これらの活動に積極的に取り組む熱意のある生徒

【育成を目指す8つの資質能力】

基礎的・基本的学力	課題解決能力	情報活用能力	自己表現力
主体性	協働性	自己理解	社会貢献

学校運営

開かれた学校づくり

- ・学校評価の適切な実施と結果の公開
- ・地域の関心に沿った情報の精選と公開、説明・結果責任を果たす取組
- ・学校の教育活動を支えるコンソーシアムの整備に向けた地域への働きかけ
- ・コミュニティスクールの将来的な導入に向けた組織体制の準備
- ・ホームページや学校便り等を媒介とした適切な情報発信

学校課題の明確化

- ・各種診断や自校生徒や地域の中学生等への質問紙調査の実施と結果を踏まえた課題の設定
- ・全教職員による課題の適切な理解と解決に向けたイメージの共有
- ・教育の質向上に向けた働き方改革の推進

学び続ける教職員集団の形成

- ・校内研修及び校外研修の充実
- ・カリキュラム・マネジメントについての深い理解
- ・プロジェクトチームの設置など、課題解決に向けた方策を検討する体制の構築
- ・事故発生時の初動ミスを防ぐ体制の確立と教職員の資質・能力の向上
- ・服務規律の保持
- ・不断の業務見直しによる働き方改革の推進

単位制を基盤とした特色・魅力ある教育活動を推進し、生徒・保護者等から信頼され、選ばれる学校づくりを実現

単位制による創意工夫ある多様な教育活動を展開し、学校の活性化に努める。

絶えず研鑽に励み専門性を高め、質の高い教育活動の実践に努める。

地域や専門機関と連携し、積極的に教育活動の充実と改善に努める。

学校情報の積極的な発信や地域・保護者との連携強化により、開かれた学校づくりに努める。

学校運営に係る業務の合理化・効率化を図り、組織体としての機能を高め、協働体制の充実に努める。

職員の健康増進、服務規律の厳正な保持と適切な勤務管理に努め、健全で活力のある信頼される学校づくりを推進する。

前例にとらわれることなく、スピード感を持って協働的かつ組織的に課題解決に努める。